

令和3年度

第3回柏市社会教育委員会議

会議資料

令和4年2月21日

柏市社会教育委員 委員名簿

所属等	職務名	氏名 ※敬称略
柏市立逆井小学校	校長	ながしま まりこ 長島 麻利子
柏市立柏第二中学校	校長	いまい あつし 今井 敦
柏市青少年健全育成推進連絡協議会	会長	あらい まさひこ 荒井 真彦
柏市障害者等社会参加コーディネーター		いしがき ひろこ 石垣 裕子
さわやかちば県民プラザ	所長	いわさき まさお 岩崎 雅夫
柏市社会福祉協議会	地域福祉課長	たかはし ふみなり 高橋 史成
多世代交流型コミュニティ実行委員会	代表	つねの まさとし 常野 正紀
柏市ふるさと協議会連合会	監事	とみたや みえこ 富田谷 三恵子
柏市PTA連絡協議会	会長	まえかわ よろず 前川 万
みんなの子育て広場支援コーディネーター		しもじ きょうこ 下地 今日子
開智国際大学教育学部	教授	てらもと たえこ 寺本 妙子
市民公募		ふるはし ようこ 古橋 洋子

任期：令和3年6月1日から令和5年5月31日まで

柏市教育委員会 出席職員名簿

所 属	職 名	氏 名
生涯学習部	部 長	みやじま こうじ 宮島 浩二
生涯学習課 (事務局)	課 長	おきもと まさき 沖本 雅樹
	担当リーダー	やまもと さとこ 山本 郷子
	主 事	なかざわ まさみ 中澤 真海
中央公民館	館 長	やまおか やすひろ 山岡 康弘
学校教育部 学校教育課	統括リーダー	きむら としみ 木村 利美

次 第

- 1 開 会
- 2 生涯学習部長あいさつ
- 3 議長・副議長あいさつ
- 4 議 事
- 5 協議事項
- 6 事務連絡
- 7 閉 会

目 次

1	前回のふりかえり	1
2	放課後子ども教室の取組について	3
3	社会教育関係団体補助金交付に係る意見聴取について	4
4	協議事項	6
5	社会教育委員会議開催予定について	9

1 前回のふりかえり

(1) 放課後子ども教室の取組について

「放課後の子ども（小学生）の居場所づくり」（抜粋）に基づき、今後の事業イメージについて説明した。

(2) 事例発表

「花サポ会の沿革（地域住民の学校支援体制作り）」に基づき、柏市立花野井小学校の取組事例についての発表を聞き、知見を広めた。

発表者：花野井小学校中澤校長，学校支援地域コーディネーター山崎氏

(3) 協議事項

「地域連携ルーム等の設置と活用にはどんな可能性があるか。地域の大人が学校とつながり，大人の活動をつなげていくにはどのようにしたらよいか」をテーマに，グループワークを実施した。

地域連携ルームに係る今後の可能性や，ハード面を含めた課題が見えた。

学校との連携にあたっては学校ニーズの把握が大事などの意見を共有した。

グループワーク意見

A グループ

- ・子どもを中心にニーズを考え，大人がつながる場になる可能性。
- ・学校のニーズを伝えることは大事で，地域の持てる力を出してもらう環境作りが大事。それがコミュニティ・スクールだと思う。
- ・場は学校だけに限定しなくて良いし，オンラインの活動もよい。
- ・学校ニーズを聞くと沢山出るが，マッチングが難しく続かない。継続させるには，場の確保と人材育成をセットで。
- ・中高生を含む子どもが自由に出入りできる拠り所にできないか。
⇒ 出入管理や空教室等ハード面の課題や，個人情報等に検討が必要
- ・学校の心配ごとを上手に開示し，重い部分の課題も共有する。
- ・ハード面を含めて地域連携ルーム導入の条件を整理することで，改修等の機を見て提案できるとよい。

B グループ

- 学校を中心に地域資源（住民，企業，施設）を活用して子どもたちを育てていけると良い。
- 学校と地域が多世代で交流できる場は必要。町会は子どもの顔が見える形の学校への協力を望んでいる等，お互いへの期待を明確に。
- 地域と学校の連携には，地域特性とニーズを踏まえた組織と独立性のあるボランティアが必要。コミュニティ・スクールで考えたい。
- 地域連携ルームは地域と学校をつなぐハブになり得る。大人同士の交流には拠点が重要で，そこに地域のキーパーソンがいると良い。
- 地域のキーパーソンに学校ニーズが伝わると活動が動くのが良い。
- 子育て世代が地域活動をしている方を見て学び，将来子どもにもつながるような縦のつながりも大事。

② 放課後子ども教室の取組について

(1) 活動報告

別添資料参照

3 社会教育関係団体補助金交付に係る

意見聴取について

- ・社会教育関係団体に補助金を交付しようとする場合には社会教育委員の意見を聴いて行うこととされています。
- ・令和4年度は、以下の社会教育関係団体に対し、補助金の交付を予定しています。

【補助金の交付を予定している社会教育関係団体】

担当課	団体名 (補助金件名)	令和3年度 補助金額(円)	令和4年度 予定額(円)
生涯学習課	柏市PTA連絡協議会 (PTA連絡協議会補助金)	940,000	940,000
	柏市青少年相談員連絡協議会 (青少年相談員連絡協議会活動費補助金)	3,391,000	3,391,000
	柏市青少年健全育成推進連絡協議会 (青少年健全育成推進連絡協議会活動費補助金)	2,408,000	2,408,000
	柏市子ども会育成連絡協議会 (子ども会育成連絡協議会活動費補助金)	1,134,000	1,134,000
	柏市スカウト連絡協議会 (スカウト連絡協議会活動費補助金)	262,000	262,000
文化課	柏市文化連盟 (柏市芸術文化活動補助金)	456,000	456,000
	柏市合唱連盟 (柏市芸術文化活動補助金)	121,000	121,000
	柏交響楽団 (柏市芸術文化活動補助金)	121,000	121,000
	柏市民吹奏楽団 (柏市芸術文化活動補助金)	121,000	121,000
	柏ジュニアストリングオーケストラ (柏市芸術文化活動補助金)	121,000	121,000
少年補導センター	柏市少年補導委員連絡協議会 (少年補導委員連絡協議会補助金)	461,000	461,000

参考

○社会教育法

(社会教育関係団体の定義)

第 10 条 この法律で「社会教育関係団体」とは、法人であると否とを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものをいう。

(審議会等への諮問)

第 13 条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、(中略)地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議(中略)の意見を聴いて行わなければならない。

令和 4 年 1 月 3 1 日時点

概要

柏市内の小中学校の P T A で組織された団体。単位 P T A 相互の連絡及び共通課題の研究を進め、相互提携して市内 P T A の健全な発展に寄与する活動を行っている。総会・運営委員会・専門委員会、P T A 活動に関する研修会、研究協議会の開催、広報紙の発行、こども 110 活動等の事業に対する補助金。

青少年健全育成を推進するために千葉県知事及び柏市長から委嘱を受け、さまざまな体験活動や啓発活動に取り組む青少年相談員をもって組織される柏市青少年相談員連絡協議会に対する補助金。

青少年の健全育成を目的に、小中学校と P T A や町会、民生委員などの各種団体等(青少年相談員、少年補導委員、子ども会等)で構成される青少年健全育成推進連絡協議会に対する補助金。

子ども達の健全育成を目的に異なる年齢の子ども及び運営を行う子ども会をもって組織し、保護者や地域住民の支援のもと学校外における遊びを通して子ども達が健やかに成長できるよう様々な行事を行っている子ども会育成連絡協議会に対する補助金。

スカウト活動を通じた青少年健全育成を目的に柏市スカウト連絡協議会が行う活動に必要な会議及び調査研修等に対する補助金。

芸術文化活動を行う団体に対し、芸術文化活動の活性化を促進し、もって芸術文化の振興に資することを目的とする活動補助金。

青少年の非行防止と健全育成に寄与するため地域における補導活動等を行う少年補導委員で組織される柏市少年補導委員連絡協議会の活動を支援する補助金。

4

協議事項

今回の議題

柏市における地域と学校の連携について「総合的な学習の時間」を切り口に考える。

社会教育委員提言（抜粋） 地域連携ルーム等の設置と活用

ア 想定される具体的活用策

- ① 学校支援ボランティア活動（略）
- ② 総合的な学習の時間等を活用した地域連携による授業

例：まち探検，防災教育，環境教育

学校とのニーズのすり合わせや，活動者同士の打合わせを十分行いながら実施することで，持続性のあるものに

- ③ 放課後子ども教室（略）
- ④ 夏休み子ども教室（略）

(1) 提言の具体化に向けた話題提供

開智国際大学教育学部 富田俊幸准教授

講義「総合的な学習の時間における学校・地域・大学の連携」

専門分野：環境教育学，持続可能な開発のための教育(ESD)，教育工学，理科教育学

主な研究業績

- 「短期の自然体験型環境学習の学習効果—霞ヶ浦湖上体験スクールを事例として—」

2019.11

- 「カリキュラム・マネジメントによる社会科と総合的な学習の時間における合科的な郷土学習ー持続可能な社会の創り手としての資質，能力の視点でのー考察ー」2020.10
「小学校における自分の身は自分で守る防災教育の実践研究ー学校組織マネジメント並びにカリキュラム・マネジメントを通してー」2020.9
- 「植物観察と歴史や産業を対象とした研修で構成された野外講座ー持続可能な開発のための教育（ESD）を視点としたー考察ー」2018.7
- 「環境への負荷に留意した学習の効果分析ー小学5年生の水質調査の実践を通してー」2017.1

(2) 講義資料

別添「総合的な学習の時間における学校・地域・大学の連携」
参照

学校・地域・大学の連携に向けて，教育政策の動向および教員養成における課題などを踏まえ，学校・地域・大学の連携による「総合的な学習の時間」の事例紹介等の講義を通して知見を広めます。

(1) 質疑・意見交換

協議の意図

①地域と学校の連携にあたり，学校側のニーズを拾う協議

②総合的な学習の時間には，地域の協力が有益になると考えられるので，地域にどのような資源や素材があるのかを共有する協議

③学校教育のカリキュラムに関わる内容について理解を深め，地域との連携に関する好事例をヒントに，現実的で具体的な方向性や方策に関する協議

⇒学校・地域・大学が協力・連携して「総合的な学習の時間」の授業づくりを実現することができないか。

(2) アンケートの実施とまとめ

- ・会議終了後，寺本議長作成のアンケートを実施します。
講義内容や協議の感想等をご記入ください。（後日事務局が回収します）
- ・アンケートの回答結果は匿名化し，学校・地域・大学の協力・連携の観点から寺本議長がまとめ，開智国際大学の研究報告書に掲載する予定です。

5 社会教育委員会議開催予定について

<令和3年度>

第1回
(書面会議)

- ・委嘱状交付
- ・議長及び副議長の選出
- ・今期の検討テーマの概要説明
- ・令和3年度生涯学習部主要事務事業概要報告

第2回
(11月2日)

- ・放課後子ども教室の取組について(今後の方向性)
- ・テーマに関する事例発表
- ・地域連携ルームの可能性に関するグループワーク

第3回
(2月21日)

- ・放課後子ども教室の取組について(経過報告)
- ・テーマに関する知見を広め、意見交換
- ・社会教育関係団体補助金交付状況報告

<令和4年度>

第4回
(6月～7月)

- ・前年会議の振り返り
- ・テーマに関する活動報告と情報共有・意見交換(グループワーク)
- ・令和4年度生涯学習部主要事務事業概要報告

第5回
(10月～11月)

- ・テーマに関する活動報告と情報共有・意見交換(グループワーク)
- ・生涯学習推進計画進捗報告

第6回
(1月～2月)

- ・社会教育関係団体補助金交付状況報告
- ・今期社会教育委員のまとめ

